



チーム I  
中川 忠則  
議員

### ▼平成二十五年当初予算について

Q 島原広域圏組合は、島原市、雲仙市、南島原市の三市、県央南環境組合はこれに諫早市が加わる等、構成が市民にわかりにくいと思うが、このまま続けていくのか  
A 広域圏で処理していることも多いのでこの形を維持していきたい。

Q 組合等への負担額は幾らなのか。  
A 約二十九億円である。

Q 雲仙市は、電算システムを単独で運営しようとしているが、本市も進んだ電算システムを導入すべきではないか。  
A 電算システムがどうあるべきか、議会とも十分協議していく必要があると思う。

Q 島原市単独でのごみ処理施設を検討してはどうか。  
A 裁判等の経緯もあるので現在の形で継続したい。

Q 国保事業の財源が不足する場合は、再度、一般会計から基金を積み立てるのか。  
A 医療保険全体の見直し検討も進められているが、詳細が決まっていない。今後の医療費の動向を見ながら検討したい。

### ▼季節性インフルエンザ予防接種費用助成について

Q 小・中・高生にインフルエンザ予防接種費用の助成はできないのか。  
A 平成二十五年から小学六年生まで予防接種費用の助成を拡大する。

### ▼高齢者に係るおむつ費用の助成状況について

Q 入院中のおむつ代は、本人負担なのか。  
A 市の助成制度に該当する方以外は、本人負担である。

### ▼教育問題について

Q いじめを小さい段階で親身に受けとめることができる相談員を採用してはどうか。  
A いじめ防止条例の中に織り込めるよう検討していきたい。

Q 児童に対し①学校の備品を壊した場合に放課後、教室に残留させる②遅刻した場合、教室に入れない③出席停止、は体罰なのか、懲戒行為なのか。  
A ①身体の苦痛を与えない範囲であれば体罰にはあたらない。②義務教育においては懲戒の手段としては認められないが、授業補完を行えば差支えない。③懲戒行為ではなく、他の児童への悪影響を防ぐための措置である。

Q 休日の部活動は、学校教育なのか。  
A 学校教育の一環として明記されている。

Q 武雄市は、市民アンケートを取り学力調査を公表した。生き抜く力を持った子供に育つよう、本市も公表する考えはないか。  
A 地域間の格差などの問題があるので、慎重に検討する必要があると思っている。



公明党  
永尾 邦忠  
議員

### ▼施政方針について

Q すこやか赤ちゃん支援事業の内容と、どのような効果を期待しているのか。  
A 保育園や幼稚園の保育料を軽減する従来の取り組みに加え、新たにおむつ代やミルク代なども支援するものであり、島原で子供を産みたいと思っていただけだろう、また、子育てにやさしいまちづくりを目指す取り組みのひとつとして理解いただきたい。

Q 校庭芝生化事業について、①内容、②予算計上に至った経緯について伺いたい。  
A ①鳥取方式と呼ばれる低コスト、低管理型の芝生の導入を目指しており、モデル校を選定し取り組みたい。課題として、散水、芝刈り等を地域の方々にお願いくることがでてくる。②教育長からも芝生の管理が心配だということもあったが、最終的に市長が校長会に出向き、芝生化事業について説明した。その後、予算編成をする中でモデル校を選定し、お願いしたいということとで予算計上した。

### ▼平成二十四年度補正予算について

Q 理科教室整備の補助金を国が組んだが、本市の状況はどうか。  
A 国の補正予算成立が二月であり、各小・中学校からの要望の集約が間に合わなかったため、今回の補正予算には計上していない。平成二十五年の補正予算で各小・中学校全校に整備する予定で進めている。

### ▼LED導入に対して、リース活用を検討を

Q 庁舎内の照明をLED照明にできないのか。  
A 経費、環境の面ですぐれているため、設置時における経費やリース等をした場合の費用対効果等を勘案し検討したい。

### ▼本市の諸施策について

Q 基金はどのように運用しているのか。  
A 現在、定期預金以外に約三十億円の国債や地方債を保有しており、二十四年度末の債券運用の実績として約七千七百万円の利息を見込んでいる。

### 【その他の質問項目】

◇市政運営に対する姿勢について